



株式会社アジュバンホールディングス  
2023年3月期2Q決算説明会  
2022年10月24日



# 目次

- I. 会社概要
- II. 2023年3月期 2Q業績
  - 1. サマリー
  - 2. 損益計算書
  - 3. 区分別売上高 前年同期比増減要因
  - 4. 売上原価 販管費 前年同期比増減要因
  - 5. 貸借対照表
  - 6. キャッシュ・フロー計算書
- III. 2023年3月期通期予想
  - 1. 期初計画と見通し（上下別）、通期修正計画
  - 2. 今後の見通しについて
- IV. 株主還元
- V. 参考情報
  - 1. 経営指標
  - 2. 四半期別比較

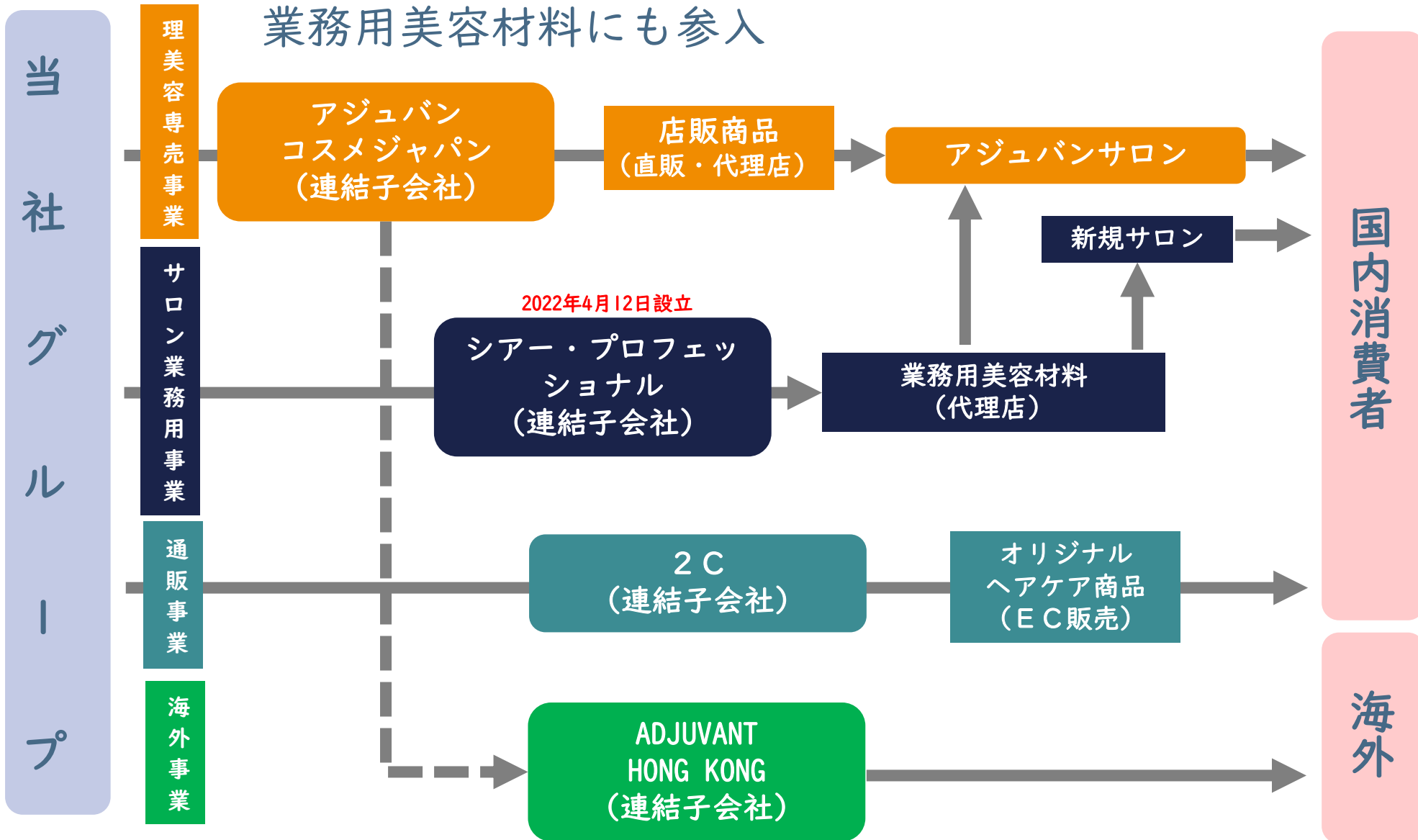
# 会社概要

# グループ概要 (2022年9月20日現在)

■ 事業内容	理美容エステサロン向けスキン・ヘアケア販売 ECによる個人向けヘアケア販売 等
■ 設立	1990年4月10日 (2021年9月21日持株会社制に移行)
■ 持株会社	株式会社アジュバンホールディングス
■ グループ会社数	4社
■ 代表者	代表取締役会長兼社長 中村 豊
■ 資本金	776百万円
■ 上場	2012年12月13日
■ 株主数	16,052名 (2022年9月20日現在)
■ グループ売上高	4,427百万円 (2022年3月期)
■ グループ従業員数	137名

# ビジネスモデル

サロン及びダイレクトに消費者向け化粧品を提供するファブレス企業  
業務用美容材料にも参入



# 事業内容

## スキンケア

クレンジング、洗顔料、化粧水、美容液  
マスク、保湿クリーム、化粧下地、メイク  
ボディケア



## ヘアケア

シャンプー、トリートメント、スタイリング  
カラー剤等

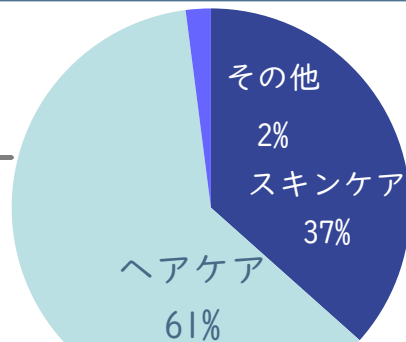


## その他

美容機器類、海外売上（アジュバン香港）  
ECによる通信販売（2C）等

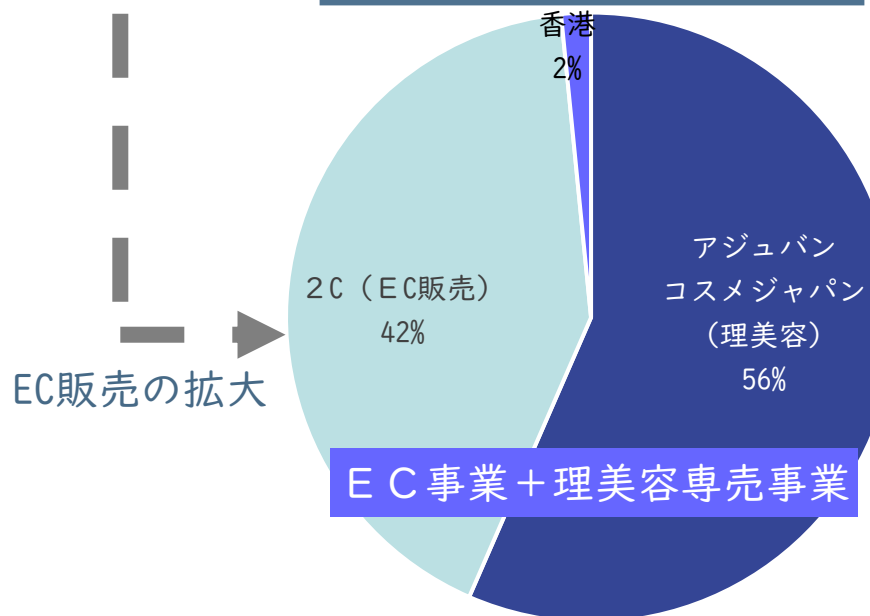


## 2022年3月期の売上構成



理美容専売事業

## 2025年3月期 売上構成計画



EC販売の拡大

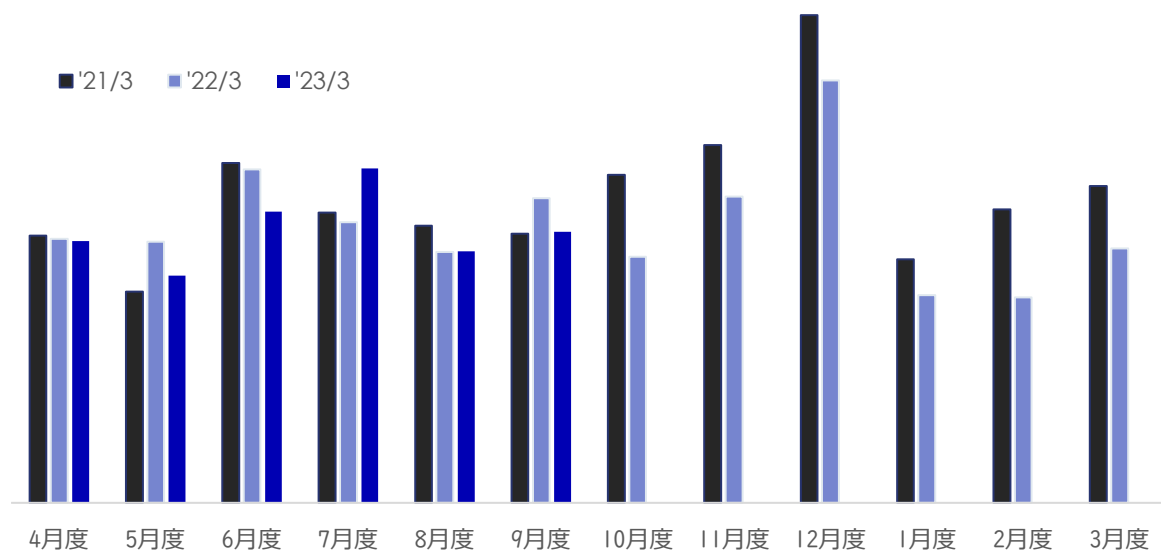
EC事業 + 理美容専売事業

# 2023年3月期 2Q業績

## 2Q 総括

- ◆ 前年同期と比べ減収（▲3.4%）、営業減益（▲87.4%）
- ◆ スキン・ヘアケア（理美容専売品）の苦戦
- ◆ 地球環境を守る取組みの一環としてリニューアル品の先出し（廃棄ロス削減）実施
- ◆ 原材料等仕入れ価格に大きな影響はなし
- ◆ 研究開発費、人件費、子会社2C（EC販売）の広告宣伝開始によるの販管費の増加
- ◆ 投資有価証券譲渡による特別利益の計上により四半期純利益は増益（+20.7%）

### 月別連結売上推移 3期比較



### 9月末現在の理美容専売営業部門の在籍年数分布

	'21/3	'22/3	'23/3
～1年	14%	10%	13%
～2年	6%	9%	9%
～3年	7%	2%	6%
～4年	10%	7%	3%
～5年	4%	9%	6%
5年～	59%	63%	63%



# 2023年3月期 2Q実績

滞留在庫の処分・評価減により前年同期と比べ粗利率が0.9pt悪化  
子会社2Cの広告宣伝は、売上動向を見ながら実施

(単位：百万円)	前期		当期					
	2Q実績	構成比	2Q実績	構成比	前年同期比 増減率	2Q計画 (`22/4/22)	構成比	計画比 増減率
売上高	2,248	100.0%	2,171	100.0%	▲3.4%	2,471	100.0%	▲12.1%
スキンケア	897	39.9%	808	37.2%	▲9.9%	873	35.3%	▲7.4%
ヘアケア	1,476	65.7%	1,425	65.6%	▲3.5%	1,608	65.1%	▲11.4%
その他	45	2.0%	97	4.5%	113.1%	186	7.6%	▲47.6%
売上割戻金	▲170	▲7.6%	▲159	▲7.3%	—	▲197	▲8.0%	—
売上原価	761	33.9%	755	34.8%	▲0.7%	851	34.5%	▲11.3%
売上総利益	1,487	66.1%	1,416	65.2%	▲4.8%	1,619	65.5%	▲12.5%
販管費	1,220	54.3%	1,382	63.7%	13.3%	1,781	72.1%	▲22.4%
営業利益	266	11.8%	33	1.5%	▲87.4%	▲161	▲6.5%	—
経常利益	273	12.2%	65	3.0%	▲76.0%	▲156	▲6.4%	—
親会社に帰属する 四半期純利益	172	7.7%	207	9.6%	20.7%	18	0.7%	1037.6%

# 区分別売上高 前年同期比増減要因

スキンケアはキャンペーン今期未実施の影響、ヘアケアは新調のReが苦戦※

※2022年10月21日付開示「2023年3月期第2四半期連結業績予想と実績値及び個別業績の前期実績との差異ならびに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ 4. 差異及び修正の理由」を参照



	前年同期比	参考：期初計画比
スキンケア	9.9%減少 ++rafuna (新規) ▲▲AE MISTY (キャンペーン) ▲BODY PROTECT (キャンペーン)	7.4%未達 △rafna ▲▲AE MISTY
ヘアケア	3.5%減少 +Re (リニューアル) ▲KASUI ▲クラスS	11.4%未達 ▲▲Re ±KASUI ▲▲クラスS
その他	113.1%増加 +香港 (代理店増加) +2C (新規)	47.6%未達 ++香港 ▲▲2C
売上割戻	店販売上の減少	同左

注) マイナス幅を▲△の量と濃さで表現 (△<▲)

# 売上原価 販管費 前年同期比増減要因

	前年同期比	参考：期初計画比
原価	<p>原価率0.9pt増加</p> <p>滞留在庫を処分・評価減</p>	<p>原価率0.3pt増加</p>
販管費	<p>売上対販管費比率9.4pt増加</p> <p>+ 理美容専売事業の営業活動量はwithコロナの下で増加傾向</p> <p>+ 2Cの広告宣伝はGW明けに本格的に開始</p>	<p>売上対販管費比率8.4pt減少</p> <p>▲理美容品販促活動費の月ズレ</p> <p>▲2C広告宣伝開始の遅れ</p> <p>▲人件費（欠員）</p> <p>▲研究開発費の一部は下半期に繰延</p>

# 貸借対照表

(単位：百万円)

	資産の部			負債の部・純資産の部		
	前期末	当期2Q末	増減率	前期末	当期2Q末	増減率
流動資産/流動負債	3,244	3,032	▲6.5%	879	618	▲29.7%
固定資産/固定負債	2,417	2,343	▲3.0%	464	460	▲1.0%
資産合計/負債合計	5,661	5,376	▲5.0%	1,344	1,078	▲19.8%
/純資産				4,317	4,297	▲0.5%
/負債純資産合計				5,661	5,376	▲5.0%

## 主な増減項目

総資産	前期末比▲285百万円	現預金▲417	商品及び製品+246
負債	前期末比▲265百万円	未払法人税等▲148	未払金▲73
純資産	前期末比▲19百万円	四半期純利益+207	配当金▲192

# キャッシュ・フロー計算書

## 営業CF

▲357百万円

税金等調整前四半期純利益（328百万円）、投資有価証券売却益（▲263百万円）  
棚卸資産の増加（▲184百万円）、法人税等の支払額（▲161百万円）

## 投資CF

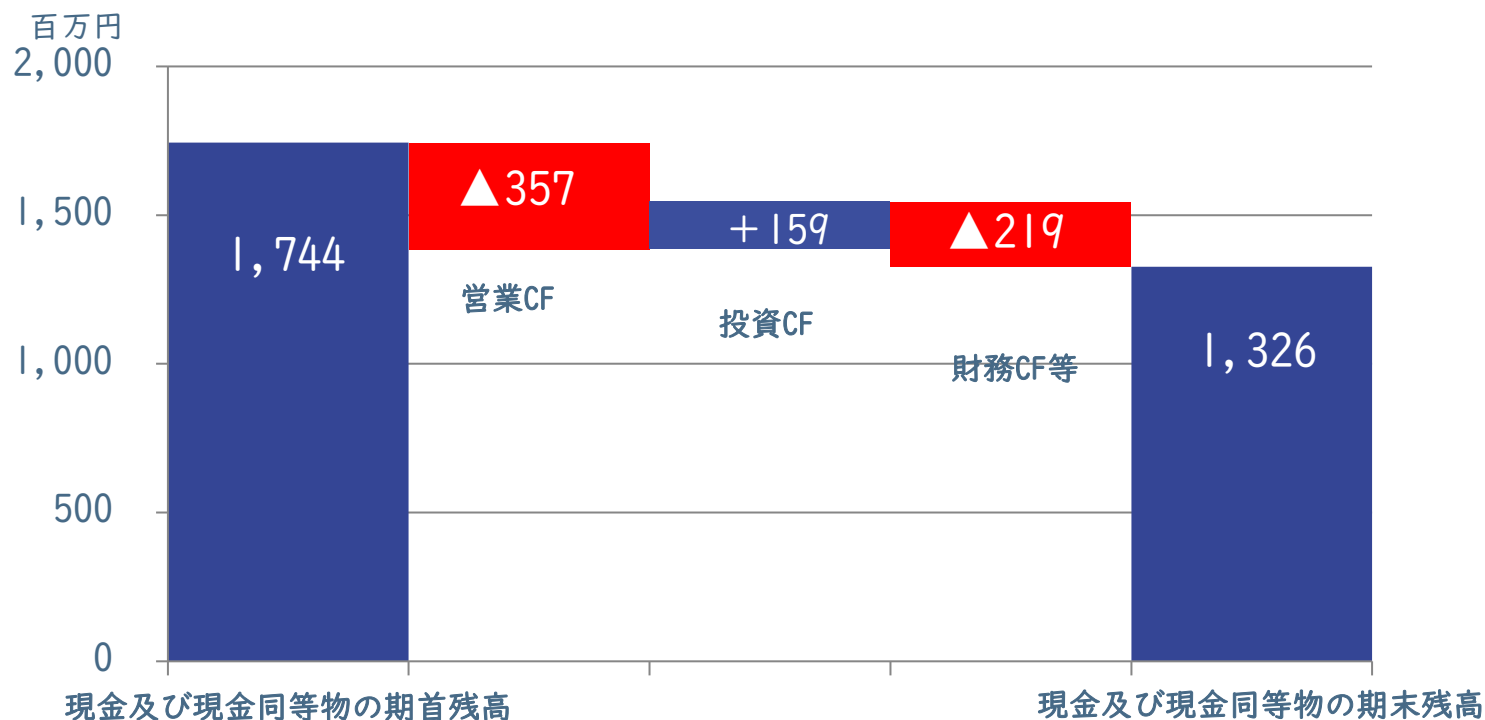
+159百万円

投資有価証券の取得及び売却（+197百万円）

## 財務CF等

▲219百万円

配当金の支払い（▲193百万円）、自己株式の取得（▲52百万円）



# 通期予想

# 期初計画と見通し（上下別）

上期実績を踏まえて、主に子会社2Cの見通しを修正。

(単位：百万円)	期初計画（4/22発表）				修正計画（10/21発表）			
	上期		下期		上期		下期	
	計画	構成比	計画	構成比	実績	構成比	見通し	構成比
売上高	2,471	100.0%	2,933	100.0%	2,171	100.0%	2,833	100.0%
スキンケア	873	35.3%	983	33.5%	808	37.2%	1,013	35.8%
ヘアケア	1,608	65.1%	1,617	55.1%	1,425	65.6%	1,673	59.1%
その他	186	7.6%	567	19.4%	97	4.5%	383	13.5%
売上割戻金	▲197	▲8.0%	▲234	▲8.0%	▲159	▲7.3%	▲237	▲8.4%
売上原価	851	34.5%	809	27.6%	755	34.8%	878	31.0%
売上総利益	1,619	65.5%	2,124	72.4%	1,416	65.2%	1,954	69.0%
販管費	1,781	72.1%	1,713	58.4%	1,382	63.7%	1,774	62.6%
営業利益	▲161	▲6.5%	410	14.0%	33	1.5%	180	6.4%
経常利益	▲156	▲6.4%	416	14.2%	65	3.0%	165	5.9%
親会社に帰属する当期純利益	18	0.7%	313	10.7%	207	9.6%	102	3.6%

# 通期修正計画

これから上市する3品が下期スキンケアをけん引、上期遅れたリニューアルヘアケアは下期改善  
 2Cは上期の遅れが影響 → グループの売上構成比の変更により原価率も変化  
 業務用ヘアカラーの新会社シアール・プロフェッショナルの業績は織り込まず

(単位：百万円)	前期		当期				
	実績	構成比	期初計画 (4/22発表)	構成比	修正計画 (10/21発表)	構成比	計画増減率
売上高	4,427	100.0%	5,405	100.0%	5,005	100.0%	▲7.4%
スキンケア	1,748	39.5%	1,857	34.4%	1,821	36.4%	▲1.9%
ヘアケア	2,933	66.3%	3,226	59.7%	3,099	61.9%	▲3.9%
その他	97	2.2%	753	13.9%	480	9.6%	▲36.2%
売上割戻金	▲353	▲8.0%	▲432	▲8.0%	▲396	▲7.9%	—
売上原価	1,485	33.6%	1,661	30.7%	1,633	32.6%	▲1.7%
売上総利益	2,941	66.4%	3,743	69.3%	3,371	67.4%	▲9.9%
販管費	2,551	57.6%	3,494	64.7%	3,157	63.1%	▲9.7%
営業利益	390	8.8%	248	4.6%	214	4.3%	▲14.0%
経常利益	401	9.1%	259	4.8%	231	4.6%	▲10.8%
親会社に帰属する 当期純利益	393	8.9%	331	6.1%	310	6.2%	▲6.4%



# 今後の見通しについて

※シアー・プロフェッショナルの業績は、  
今期計画には織り込まず

理美容専売		2Qまで取り組み	2023年3月期 下期見通し
売上	内因	スキンケア上市 ヘアケアリニューアル	スキンケア上市 10月美容液、ハンドクリーム 3月ポイントメイク
	外因	コロナ禍、人々の美容への支出増加 ヘアケアリニューアル品の在庫調整	「脱マスク」の流れからスキンケア化粧品需要の増加
原価	滞留在庫を処分・評価減		自社処方品の上市による原価率の低減を図る
販管費	しばらく行うことができなかった接触型対面営業がWithコロナに入り再開の傾向		左記により営業活動費の増加見込み

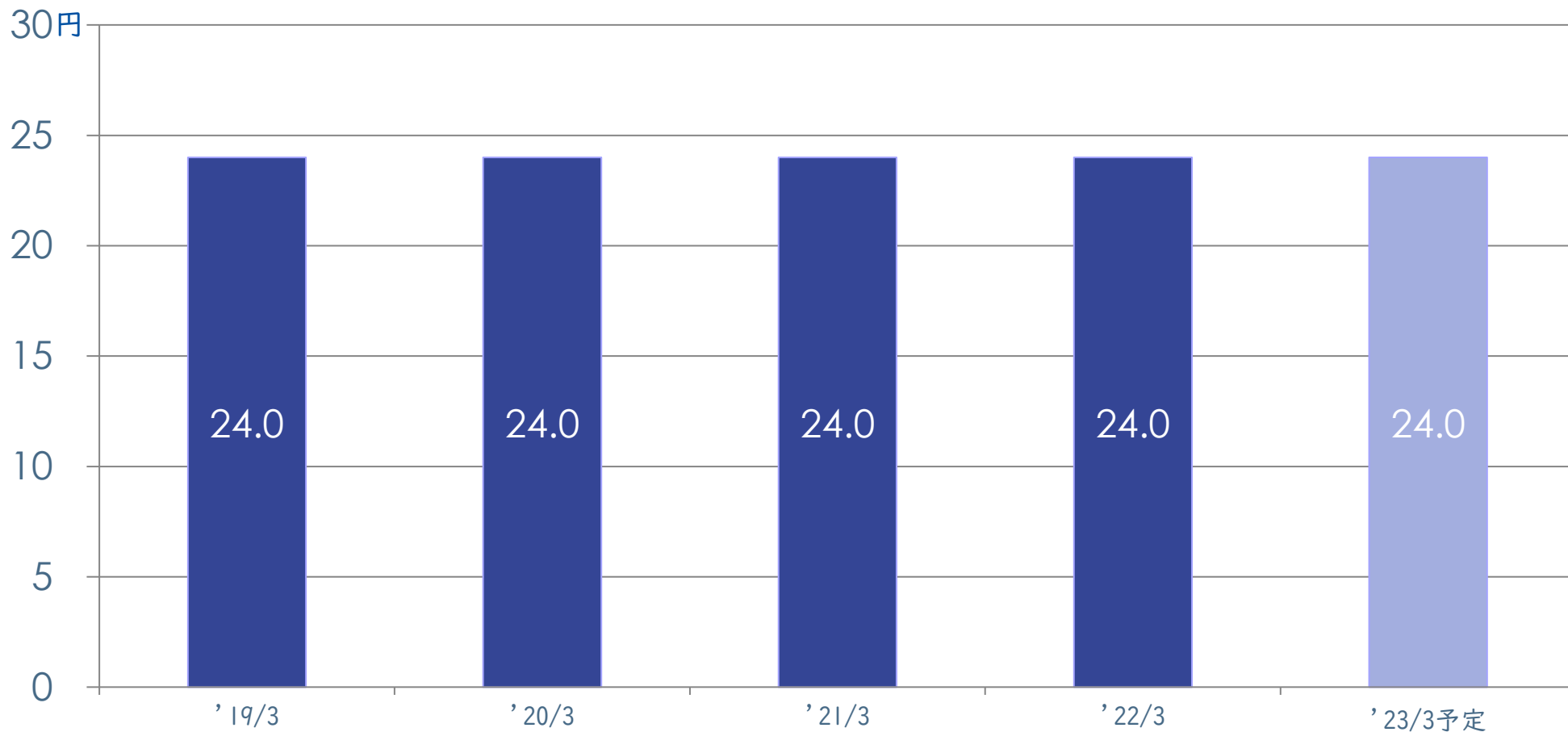
EC販売		2Qまで取り組み	2023年3月期 下期見通し
売上	内因	2Qに入り広告宣伝効果が出始める	新規顧客獲得数が増加 獲得顧客が定期便による安定したりリピート需要となり売上が徐々に拡大
	外因	コロナ禍、人々の美容への支出増加 ECでの購入比率の拡大	同左
原価	計画通り推移		同左
販管費	GW明けから本格的にネット広告宣伝を開始		広告宣伝の継続強化

# 株主還元

# 株主還元

## 配当金の推移（1株当たり）

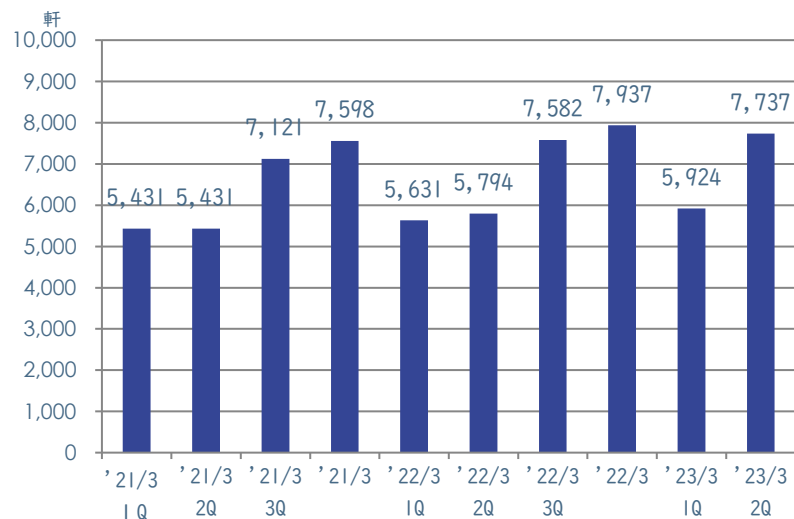
～業績を勘案しつつ安定的な配当を継続して実施していく方針～



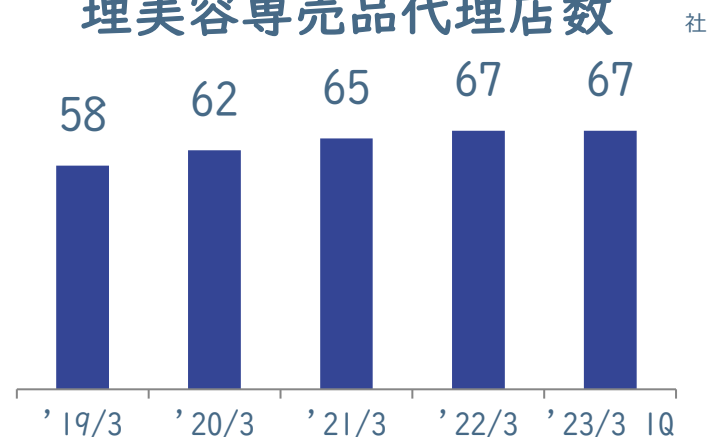
ご清聴ありがとうございました。

# 参考情報

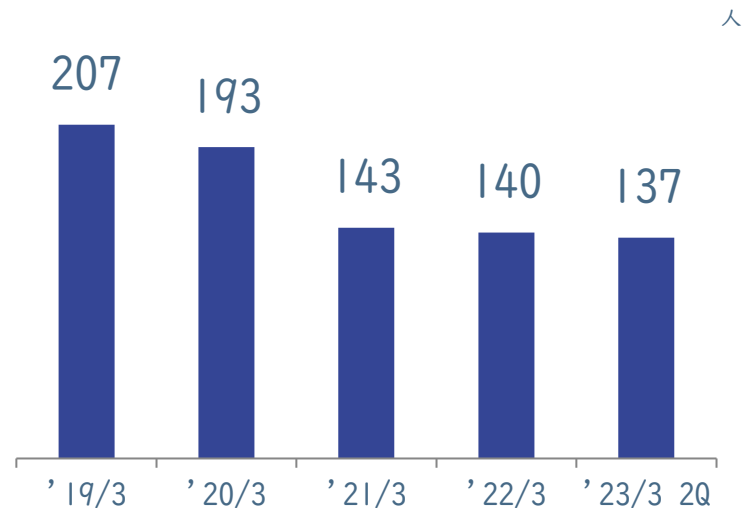
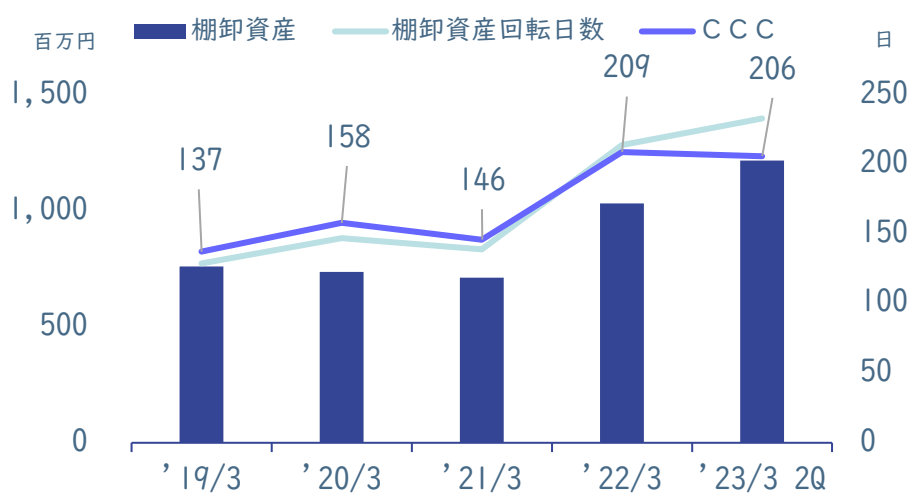
## アジュバンサロン稼働店舗数



## 理美容専売品代理店数



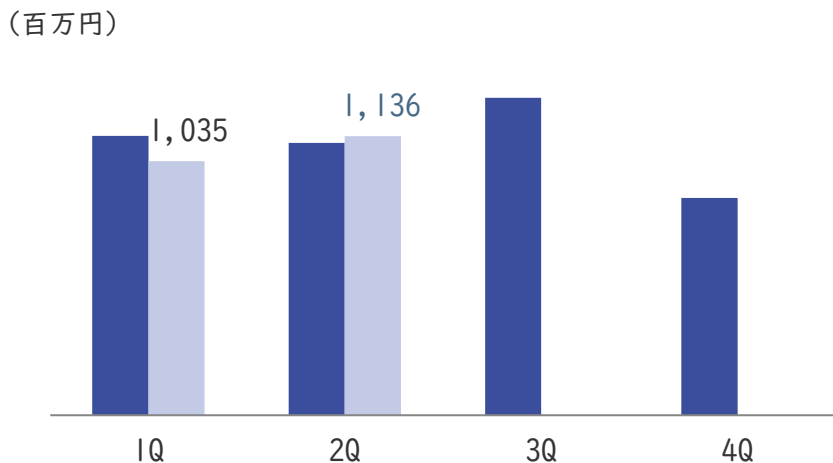
## グループ従業員数



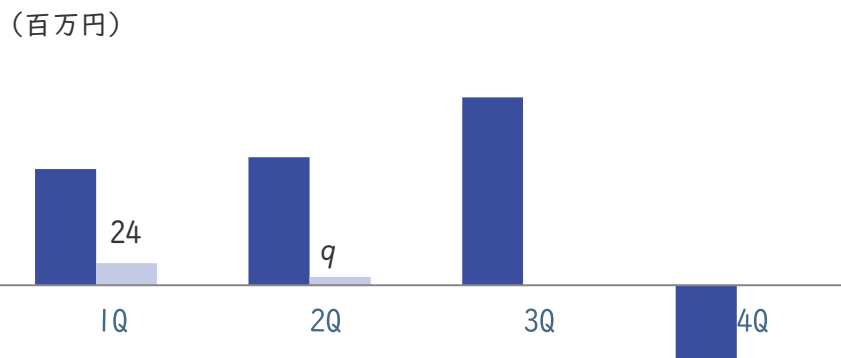
'21/3にてEX社を連結子会社から除外

# 四半期別比較

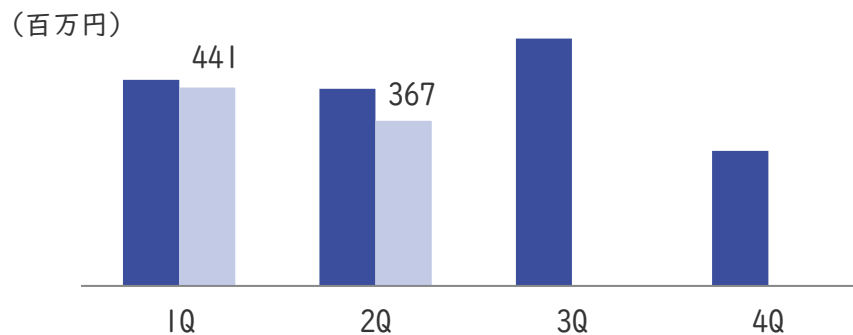
売上高 左 '22/3 右 '23/3



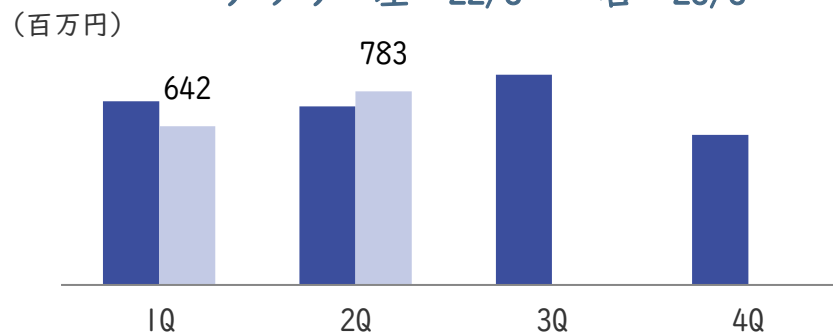
営業利益 左 '22/3 右 '23/3



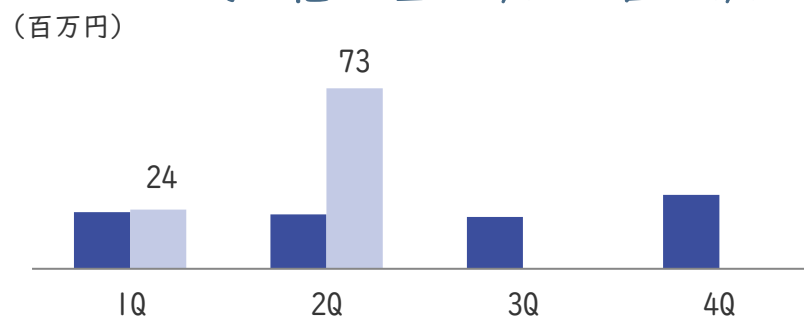
スキンケア 左 '22/3 右 '23/3



ヘアケア 左 '22/3 右 '23/3



その他 左 '22/3 右 '23/3





本資料ならびに I R 関係のお問合せにつきましては、  
下記までお願いいたします。

株式会社アジュバンホールディングス I R グループ  
ir-contact@adjuvant.co.jp

本資料は、当社の現状を理解していただくために作成したものです。

本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。